

2 技能振興の推進（技能尊重気運の醸成）

(1) 技能五輪全国大会

国内の青年技術者の技能レベルの日本一を競うことにより、青年技術者に努力目標を与え、我が国産業の技術水準を高め、更に、技能者の社会的評価を向上させるとともに、大会開催地域の若者に優れた技能に身近に触れる機会を提供する等、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的に、毎年技能五輪全国大会が開催されています。

平成19年度は千葉県で全国大会が開催され、県では、熊本県職業能力開発協会と連携して、本県から出場する選手に対し、旅費・ユニフォーム代等の助成を行い、大会への参加を支援しました。

<第45回技能五輪全国大会概要>

主 催：中央職業能力開発協会・千葉県
開催期間：平成20年2月29日（金）～3月3日（月）
競技会場：幕張メッセ他
参加選手：全国 980人
 本県 9職種14人
来場者数：32,760人
本県成績：銀賞1個、銅賞3個、敢闘賞3個
参 考：第46回技能五輪全国大会が千葉県において開催される予定。
 平成20年10月31日（金）～11月3日（月）

(2) 障がい者技能競技大会

障がい者の職業能力の開発等を促進し、技能労働者として社会に参加する自信と誇りを与えるとともに、広く障がい者に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的に、毎年、県と(社)熊本県高齢・障害者雇用支援協会が共同で県大会を開催しています。

また、県では、県大会で優秀な成績を収めた選手の中から全国障害者技能競技大会「アビリンピック」に県代表選手を推薦しており、大会への参加支援のため、練習材料及びユニフォーム代の助成を行います。

<平成20年度熊本県障がい者技能競技大会概要>

主 催：熊本県・(社)熊本県高齢・障害者雇用支援協会
後 援：熊本労働局・(福)熊本県身体障害者福祉団体連合会
 ・(福)熊本県手をつなぐ育成会等を予定
開催日：平成20年11月30日（日）
競技会場：県立熊本高等技術訓練校・熊本ソフトウェア（株）等
実施競技：約25職種100人程度

(3) 技能グランプリ

年齢に関係なく、特級、1級及び単一等級技能士による「技能日本一」を競う大会で、技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的として、昭和57年から開催されています。

また、平成15年度からは、隔年で開催されており、大会の優勝者には、内閣総理大臣賞、厚生労働大臣賞などが贈られます。

<第24回技能グランプリ概要>

主 催：中央職業能力開発協会、(社)全国技能士会連合会
開催期間：平成19年3月2日(金)～5日(月)
競技会場：千葉県幕張メッセ他
参加選手：全国 30職種462名
 本県 6職種 7名
来場者数：12,700人
本県成績：第3位1名、敢闘賞1名

(4) 技能祭

技能尊重気運の醸成、技能継承及び技能後継者の確保育成、技能向上及び技能士の社会的地位向上を目的に、技能のすばらしさ、大切さ等をアピールするため、隔年で開催しています。
平成20年も開催予定です。

<熊本県技能祭「技能ふれあい・体験ストリート2006」概要>

主 催：熊本県技能祭「技能ふれあい・体験ストリート2006」実行委員会
(委員会構成)熊本県、熊本市、熊本県職業能力開発協会、
(社)熊本県技能士会連合会
開催期間：平成18年11月11日(土)～12日(日)
会 場：辛島公園・サンロード新市街・下通り・びふれす広場
内 容：各技能関係団体による作品の展示・即売・製作実演、ふれあい
教室、ステージイベント等
来場者数：41,000人

(5) 職業能力開発促進大会

優秀技能者等への表彰式、講演会等を内容として、毎年、県と熊本県職業能力開発協会と(社)熊本県技能士会連合会とが共同で開催しています。
平成19年度は、第20回記念大会として、11月20日(火)メルパルク熊本において、関係者約220名の参加をもって、県知事表彰・県職業能力開発協会長表彰・技能士会連合会長表彰等の授与のほか、「記念講演」や「認定訓練生の集い」を行いました。

(6) 優秀技能者等の表彰

① 熊本県の表彰制度

優秀技能者、技能尊重推進功労者、認定職業訓練関係功労者及び認定職業訓練関係優良職員等の知事表彰を毎年実施しています。

② 国の表彰制度

国においては、人目につきにくい分野にあって多年にわたり業務に精励した方等に対する叙勲・褒章及び、職業能力開発関係(認定職業訓練及び技能検定に係る優良事業所、団体及び功労者並びに技能振興に係る優良事業所及び団体)並びに※1卓越した技能者に対する厚生労働大臣表彰が実施されています。

※1「卓越した技能者に対する厚生労働大臣表彰」

卓越した技能者を「現代の名工」として表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させようとする制度です。

③ 技能者の認定制度

厚生労働省から委託を受けた中央職業能力開発協会が認定する「高度熟練技能者認定制度」※₂や、社団法人全国技能士会連合会が認定する「全技連マイスター認定制度」※₃などがあります。

※₂ 「高度熟練技能者認定制度」

高度な技能を駆使して、高精度・高品質の製品・試作品等を作り出すことができる技能者を認定し、優れた熟練技能を継承する制度です。

※₃ 「全技連マイスター認定制度」

技能・ものづくりに優れた実績を持ち、自ら有する技能伝承に関する高い志のもとに後継者への指導に意欲のある技能者を認定し、秀逸技能伝承の推進に寄与する制度です。

(7) ものづくりチャレンジ事業

若年者を中心とするものづくり離れの解消や技能の後継者育成を目的とするものづくり教育・学習の円滑な推進に取り組んでいます。

① 「ものづくりチャレンジ教室」の実施支援

ものづくり学習実施申込のあった学校に、データベースに登録した技能者を派遣し、総合的な学習の時間や技術・家庭の時間又はPTA活動などを利用し、熟練技能士の指導の下に児童・生徒がものづくりを体験しました。

平成19年度は、小学校8校、中学校6校の合わせて14校1,861名の児童・生徒がものづくり体験に取り組みました。

○ 平成19年度「ものづくりチャレンジ教室」実施状況（単位：人）

	学校名	市町村名	職種数	児童数 生徒数	技能士 派遣数
1	大津南小学校	大津町	2職種	39	12
2	八代第八中学校	八代市	1職種	39	7
3	西原中学校(講話)	熊本市	1職種	1,000	1
4	阿蘇中学校	阿蘇市	8職種	175	48
5	一武小学校	錦町	1職種	31	7
6	渡小学校	球磨村	1職種	16	4
7	泉中学校	八代市	6職種	54	28
8	嘉島東小学校	嘉島町	1職種	25	12
9	岱明中学校	岱明町	9職種	149	48
10	嘉島中学校	嘉島町	5職種	90	23
11	下浦第一小学校	天草市	1職種	14	2
12	帯山西小学校	熊本市	10職種	104	39
13	北部東小学校	熊本市	4職種	108	20
14	走瀧小学校	宇土市	1職種	17	4
	合計		51職種	1,861	255

② 「工業高校生による小・中学生実技講習会」の開催

高校生が、地域の小中学生に対して実技指導を行いました。

平成19年度は、10校が事業に取り組み、466名の小・中学校の児童・生徒に実技講習を行いました。

平成20年度は、3つのフォレスト構想に関連する実技講習会を実施します。

主 催：熊本県・熊本県教育委員会

○平成19年度「工業高校生による小・中学生実技講習会」実施状況(単位:人)

学校名	実施項目	指導対象者	人数
小川工業高等学校	MCによるアクリル板加工等	中学3年生	36
	木工小物作り		
	CADによる土木構造物の作成		
	屋内配線実習、テーブルタップ製作		
	電子回路の組み立て		
水俣工業高等学校	手作りソーラーボート工作	小学1～6年生	20
	音センサ搭載ロボット製作	小学4～6年生	17
	ブックエンド、収納小ベンチ製作	小学1～6年生	19
	小計		56
玉名工業高等学校	ミニマイコンカー製作	中学3年生	20
御船高等学校	無人走行ロボット製作	小学5・6年生	29
天草工業高等学校	ソーラーカー製作	中学2年生	23
	ワイヤレスマイク製作	中学2年生	6
	橋梁模型製作	中学2年生	4
	ソーラーカー、ゴム動力飛行機製作	小学4年生	22
	ライントレーサー製作	中学2年生	14
	電子工作(光センサーを用いた工作)	小学4年生	6
	小計		75
	八代工業高等学校	木製スツールの製作	中学2・3年生
フラワースタンド製作		中学生	13
水の全硬度測定(化学分析)		中学生	4
ミラクルライト製作		中学生	12
お風呂ブザー製作		中学3年生	22
小計			71
翔陽高等学校	ゴム動力模型製作	小学3～5年生	7
	フラワースタンド製作(溶接)	中学3年生	3
	小計		10
鹿本商工高等学校	MCによる切削加工	小学4年生	23
	電気工事・電子回路組立	～中学3年生	
球磨工業高等学校	文鎮製作	中学2年生	2
	電子回路組立	中学2年生	1
	木材加工	小学3・4年生	137
	小計		140
熊本工業高等学校	焼印製作	中学1・2年生	6
合計			466